

令和5年度 事業報告・収支決算書

豊橋市岩田総合球技場等

豊橋スポーツパートナーズ

(1) 管理施設の利用状況

①利用者数

利用者数	令和5年度
施設利用者数	163,432人
(内有料施設利用者数)	(141,586人)

(内 訳)

施設区分	利用区分	内 訳	利用日数
市民球場	昼	43,748人	167
	ナイター	10,683人	
	(計)	54,431人	
市民球技場	昼	25,604人	88
市民庭球場	早朝・昼	29,193人	299
	ナイター	13,526人	
	(計)	42,719人	
市民クラブハウス	昼・夜	3,851人	165
万場調整池庭球場	早朝・昼	14,981人	290
開館日数			309

②サービス向上への取組

◆参加申込のノンストップサービス

スポーツ教室に係る参加申込を窓口申請に加え、スマートフォン・パソコンによる電子申請を可能とし、窓口での現金支払いに加え、クレジット決済としており、今年度は長期継続(複数月)の申請を可とし、ノンストップサービスの充実をしました。

◆広報・情報提供

ホームページ・SNS・フリーペーパー・地域スポーツ誌に加え、地元FM局によるマンスリー番組を開設するなど、積極的な広報活動の展開による充実を図り、利用者の方へ情報発信を実施しました。

◆開館時間の拡大

市民庭球場、万場調整池庭球場の貸出時間帯に早朝枠(午前7時から午前9時)を設け、利用時間を拡大しました。

③利用者満足度調査結果

満足度	目標値 (満足)	令和5年度		
		満足	どちらとも	不満
施設利用申請方法の利便性	90%以上	43%	40%	17%
施設利用の利便性	90%以上	68%	21%	11%
職員の対応について	90%以上	75%	23%	2%

(評価方法)

12月から2月を利用者アンケート強化月間とし、利用申請の利便性を「とても便利」「便利」「どちらともいえない」「不便」「とても不便」の5段階に分けて聞き取り、「とても便利」「便利」を『満足』、「どちらともいえない」を『どちらとも』、「不便」「とても不便」を『不満』に分類し評価したもので、施設利用の利便性、職員の対応についても同様に調査を実施しました。

(アンケート調査回答者数)

250件

◆今後の取組

アンケート調査結果を踏まえ、引き続き利用者満足度を向上させ、利用者数の拡大を図りました。

④利用者要望(意見)の対応

施設内駐車場の拡張、駐車可能台数を増やして欲しいとの要望に対し、大会関係者と共に公共交通機関の利用、他の公共施設駐車場への利用を促しました。

さら、当協会ホームページにおいて、駐車場満車予測情報を掲載し自家用車による来場を控えるよう要請をしました。

⑤苦情・トラブルの対応

毎月、当協会職員によるスタッフ会議を開催し、課題の洗い出し・問題の解決方法など情報の共有化により、職員のスキルを向上させることで、苦情・トラブルのゼロ化を目指し、その発生を抑制しました。

なお、苦情・要望に対しては丁寧かつ迅速に対応しました。

(2) 管理業務の実施状況

①自主事業の実施状況

事業名	予定回数 (回/年)	募集人数 (人/回)	実施回数 (回/年)	参加者数 (人/年)
芝生でハイハイレース	6	20	5	154
豊橋キャッチボールフェスティバル	1	400	1	350
野球場大開放デー	12	50	12	248
プロテニスプレーヤーによるテニス指導イベント	2	100	2	59
スポーツ教室(テニス ジュニア)	2	50	1	7
スポーツ教室(テニス 一般)	8	20	8	117
スポーツ教室(テニス ナイター)	2	40	2	64
スポーツ教室(ラグビー 小中生)	1	60	1	60
有名選手がやってくる(野球)	1	100	1	150
ベースボール遊び	1	700	1	550
テニスの日	1	80	1	52
星空ヨガ	20	50	8	154
ズンバ	4	50	4	171
アルティメット交流会	1	20	1	17
パラスポーツ体験会	1	20	1	10
子供の習い事サポートスクール	1	20	雨天中止	0
計	64		49	2,163

注：予定回数と実施回数の差は『雨天中止』による

②その他事業の実施状況

事業区分	事業名(開催名)
子供のスポーツ機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生でハイハイレースの開催 ・ ジュニアテニス教室の開催 ・ キャッチボールフェスティバルの開催
働く世代の健康・体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナイターテニス教室の開催 ・ 大人向きテニス教室の開催
市民参加型イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ とよはしスポーツ博(参画) ・ とよはしスポーツフェス 2023 の開催
地域スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民スポーツ祭
ハイレベルスポーツ大会等の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロ野球公式戦開催 ・ プロ野球ウエスタンリーグ(中止) ・ JFL公式戦開催 ・ JDリーグ公式戦開催 ・ なでしこリーグ公式戦開催
トップアスリート交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ トヨタ自動車硬式野球部の指導の開催 ・ デンソーソフトボールチームの指導(中止) ・ 名古屋オーシャンズ技術指導講習会の開催
スポーツボランティアの参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会の開催
スポーツ指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会の開催
地域スポーツを支える人材づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習会の開催
競技者・競技団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室の開催
障害者スポーツ活動を支える人材づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラインドチャレンジの開催

③レクリエーション器具の貸出状況

月	貸出団体数	利用者数(人)	貸出品種(延)
4	3	175	3
5	16	830	32
6	13	485	21
7	12	856	30
8	9	610	30
9	16	1,357	42
10	15	1,320	28
11	27	2,995	50
12	13	809	30
1	9	400	12
2	15	604	27
3	8	177	15
計	156	10,618	320

(貸出器具の例)

インディアカ、カローリング、グランドゴルフ、スカットゲーム、ソフトテニスなど

④維持管理等業務

◆グラウンド整備等維持管理

プレイヤーズファースト、プレイングクオリティの向上を念頭に、各大会主催者(利用者)などと事前に協議・調整し、利用者の意向を尊重したグラウンド等の整備を実施しました。

各マニュアル、マネジメントプランに則り、利用者の『安全・安心・快適』を念頭に、日常点検を実施する中で、施設の状態を細かく把握した施設の管理を実施しました。

◆公園・駐車場等維持管理

施設の特長でもある公園エリア・スポーツ観覧エリアについては、除草・植栽管理、清掃管理を中心に清潔感・快適性を維持し、利用者の方、スポーツ観覧をされる方に満足して頂けるよう施設の管理を実施しました。

⑤職員研修

◆業務改善ミーティング

利用者サービスの向上を目的に、業務改善ミーティングを定期的に行いました。

◆実務研修

新規採用職員研修、指定管理施設内でのOJT研修により職員個々のスキルを向上させ、利用者の負託に応えることができました。

⑥緊急時対応

◆危機管理

防災(地震・消防)訓練、熱中症対策に係る利用者への啓発などを実施しました。

また、気象庁の定める特別警報等・警報・注意報を常に把握し、利用者の安全を図るための施設閉鎖などについて再確認を行いました。

その結果、6月のゲリラ豪雨に対しては、利用者の帰路を踏まえた影響を予測する中で施設を閉鎖し、利用者の安全を確保することができました。

(3)管理経費

①管理経費

収入の部(1)		支出の部(2)	
指定管理料	61,761千円	賃金	25,505千円
利用料金収入	15,681千円	光熱水費	15,833千円
自主事業収入	7,032千円	修繕費	4,046千円
		委託料	19,789千円
		その他	14,661千円
計	84,474千円	計	79,834千円
	収支差額(1)-(2)		4,640千円

②修繕内容

施設名	修繕名
市民球場	給水加圧ポンプ取替修繕
市民球場	自走式コートローラー修繕
市民球場	自走式芝刈機修繕
市民球場	重量シャッタースイッチ修繕
市民球技場	エアコン修繕、更衣室遮光フィルム修繕
市民庭球場	夜間照明灯不点修繕

③業務委託内容

施設名	業務委託名
岩田総合球技場	消防用設備保守点検業務委託
岩田総合球技場	非常用自家発電装置負荷試験業務委託
岩田総合球技場	自家用電気工作物保安管理業務委託
市民球場	公共建築物定期点検業務委託
市民球場	フロンガス漏洩点検業務委託

(5) 指定管理者の自己評価

指定管理業務期間の2年目となった令和5年度は、管理運営の基本理念である「スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」を柱に楽しさを通して、笑顔と活力に満ちた街づくりに貢献します」を目指し、新型コロナウイルス感染症の5類へ移行する中で、新たな出発と捉え、更なる充実を図りながらの事業を展開しました。

具体的には、ハイレベルスポーツであるプロ野球公式戦・JDリーグ公式戦・JFL公式戦、なでしこリーグ公式戦の開催、名古屋オーシャンズ技術指導講習会を開催しました。

また、豊橋スポーツパートナーズの強みを生かした自主事業の実施により、多くの方にスポーツに触れる機会を提供することができました。

これらの取組の結果、令和5年度の有料施設利用者数は141,581人と、コロナ前である令和元年度の利用者数146,471人を上回ることができませんが、前年度実績を25,192人上回ることができ、着実に成果を上げることができました。

来年度はより一層の利用者サービスの向上とスポーツ振興に努め、事業展開を充実させ利用数の拡大を図ってまいります。

一方、電力使用料をはじめ・調達資機材費・施設補修費など維持管理費用の高騰が懸念されますが、利用者の方にご迷惑をお掛けすることの無いよう、コスト縮減に努め、更に満足して頂けるように指定管理業務に努めます。